

ウェブの知識



「PWAとは」をわかりやすく解説。WordPressサイトの対応方法も紹介

🕒 2025.04.22 🔄 2025.05.03

PWA

ページに広告が含まれる場合があります。

Webサイトをスマホアプリ化したいけど、ネイティブアプリは開発コストも維持コストもかかります。その上、アプリストア（Google Play/App Store）の審査も必要。サイトをアプリ化するのは、なかなかハードルが高いわけです。

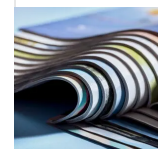
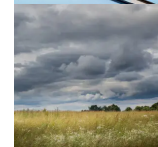
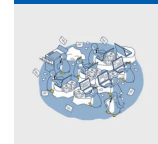
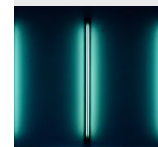
そんなハードルを一挙に解決する技術がPWAです。PWAであれば、手軽にアプリ化できる上、OSの審査も不要です。

当記事では、PWAとは何か？から特徴やメリット・デメリットに加え、WordPressサイトをPWA化する方法もご紹介します。

目次



新着記事

一部の
示する
のつくクラウド
怪しい
件）のGMO順
とは？
金・評AI内製
ト・デ
は？自(Word
テキス
にする

人気テーマランキング

1 GENESIS (tcd1

2 MONAD (tcd11

PWAとは？

PWAの主な特徴

上下のバーが非表示になる

アプリスイッチャーで独立したアプリとして認識。

インストール不要

アプリストアの審査不要

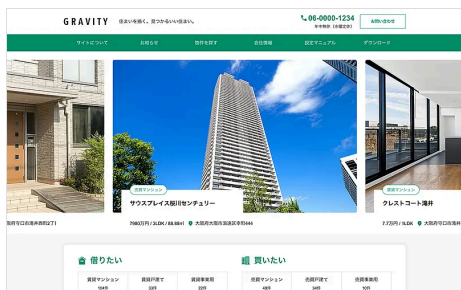
プッシュ通知

オフラインでの動作

PWAのメリット・デメリット

WordPressサイトをPWA化する方法

まとめ



WordPressテーマ「GRAVITY」

高品質な不動産ポータルサイトが圧倒的なコストパフォーマンスで作成できるWordPressテーマ

デモサイト

ダウンロード

PWAとは？

PWAとは、Progressive Web Appの略で、ウェブアプリケーションとネイティブアプリの良いところを組み合わせた新しい形態の仕組みです。

簡単に言えば、スマホアプリ化する技術なのですが、実際にアプリ化するのではなく、ブラウザで動作します。つまり、通常のサイトと同様にブラウザで動作するが、一見アプリのように見せることができるというわけです。

PWA化したサイトのURLをホーム画面に追加することで、ネイティブアプリに近い動作を体感できます。

では、PWA化で一体どのようなことができるのか。解説します。

PWAの主な特徴

PWAの特徴は次のようなものがあります。

3 ISSUE (tcd106)

4 SEED (tcd105)

5 AIDER (tcd115)

6 GRAVITY (tcd107)

7 SOLARIS (tcd108)

8 SERUM (tcd09)

9 QUALIA (tcd11)

10 GAIA (tcd102)

ブログカテゴリー

ワードプレス

ホームページ制作

ウェブ集客

ソーシャルメディア

プログラミング

ツール・アプリ

スピンオフ

月を選択



- 1 上下のバーが非表示になる
- 2 アプリスイッチャーで独立したアプリとして認識
- 3 インストール不要
- 4 アプリストアの審査不要
- 5 プッシュ通知
- 6 オフラインでの動作

上下のバーが非表示になる

通常のWebサイトをスマートフォンで閲覧すると、上下に検索バーやフッターバーが表示されます。**PWA化**すると、上下のバーが非表示となり、アプリライクなデザインになります。



上下のバーが非表示になってスッキリ

アプリスイッチャーで独立したアプリとして認識。

PWA化したサイトをホーム画面に追加し表示すると、こんなふうに独立したアプリケーションのように表示されます。

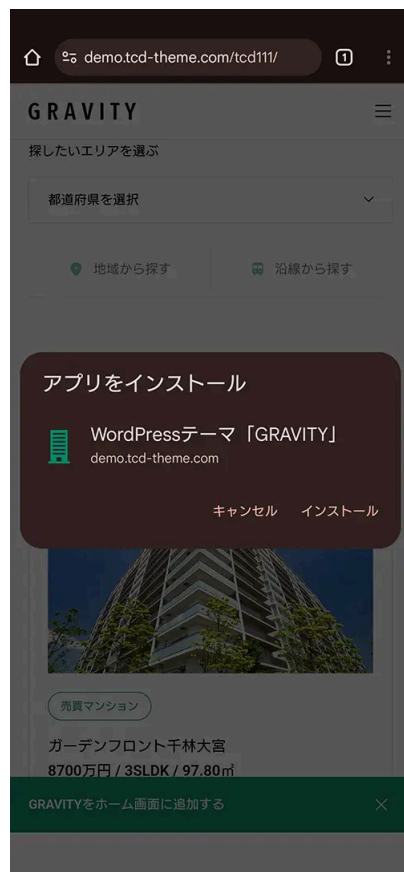


独立したアプリのように

通常であれば、サイトはブラウザの数あるウィンドウの中の1つとして表示されますが、PWA化するとスワイプしても1つのアプリケーションのように扱われます。これもアプリっぽい動きになりますね。

インストール不要

PWAは、ユーザーがウェブブラウザを通じて直接アクセスできます。従来のネイティブアプリではアプリストアからダウンロードする必要がありますが、PWAではその手間を省くことができます。



簡単にホームボタンに追加できる

ユーザーがウェブサイトを訪れると、インストールを促すポップアップが表示され、インストールすることでホーム画面にアイコンを追加することができます。この技術はA2HS（Add to Home Screen）と呼ばれていて、日本語だと「ホームボタンに追加」という意味になります。

このA2HSに対応しているのは、**Androidのみで、現状iOSは検索バー横の「ホームボタンに追加」ボタンからでなければ追加できません。**

アプリストアの審査不要

PWAはブラウザで動くため、通常のWebサイトと構造は同じです。ですので、Google Play/App Storeなどのアプリストアに審査が必要なく、簡単にリリースできます。

Apple税が取られる心配もありません。Apple税とは、iOSアプリ内にて決済・課金が行われた場合にかかる手数料です。なお、その手数料率はなんと30%。

そのため、ネットショップをアプリ化するなら、PWAを選択の方が賢いと言われています。

プッシュ通知

目次

PWAとは？

PWAの主な特徴

上下のバーが非表示に

アプリスイッチャーで
リとして認識。

インストール不要

アプリストアの審査不

プッシュ通知

オフラインでの動作

PWAのメリット・デメリ

WordPressサイトをPWA

PWAは、ネイティブアプリと同様にプッシュ通知機能をサポートしています。これにより、ユーザーにリアルタイムで通知を送ることができ、エンゲージメントを高めることができます。

但し、プッシュ通知に対応しているのは、A2HSと同様にAndroidのみです。

こちらの記事も参考にご覧ください。



🕒 2017.01.29 🕒 2025.06.05

WordPressサイトにPWA対応プッシュ通知を導入する方法

プッシュ通知を導入すれば、WordPressサイトを更新した際に、スマートフォンやPCのブラウザにリアルタイムでメッセージを届けることができます。たとえば、PCではブラウザに...

オフラインでの動作

PWAは、インターネット接続がない場合でも機能を提供することができます。これを実現するために、PWAはサービスワーカーという技術を使用して、ウェブサイトのリソース（画像やデータなど）をキャッシュし、オフラインでも利用可能にします。

但し、キャッシュを集める際にサイトの表示速度が一時的に重くなる懸念はあります。ですので、オフラインでの動作を可能とするかどうかは、サイトの性質にもよるところかと思います。ネットショップであれば、決済にインターネット接続が必要なので、オフラインで動作しても仕方ないかもしれません。

PWAのメリット・デメリット

PWAのメリット・デメリットです。これまで解説した内容と被りますが、まとめとしてご確認ください。

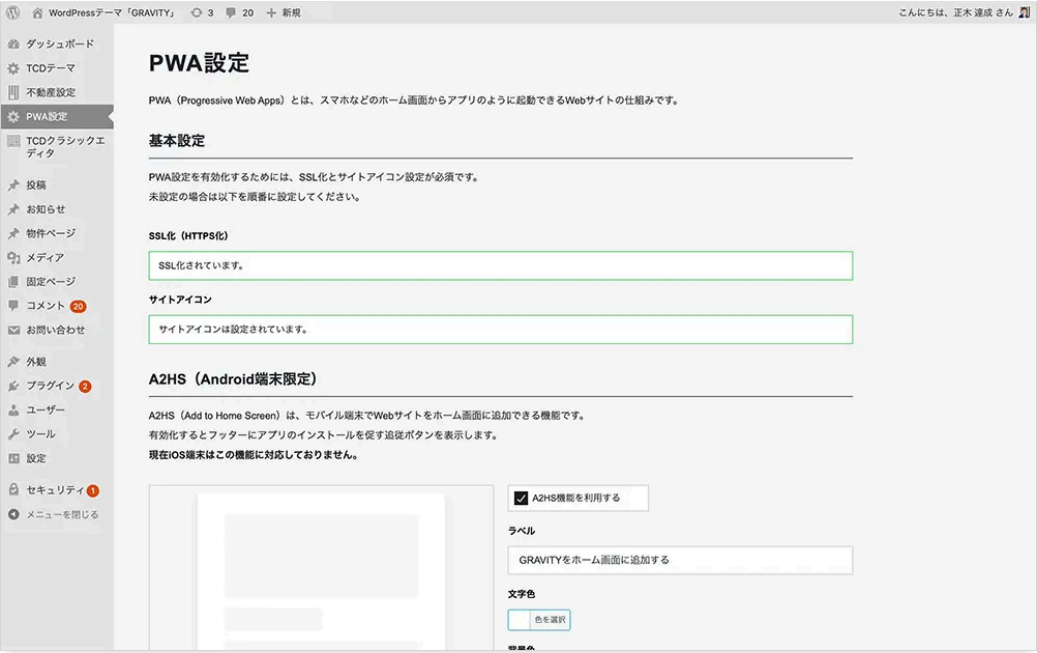
PWAのメリット	
アプリライクなデザイン	上下のバーが非表示になり、ネイティブアプリのような洗練されたデザインが
簡単なアップデート	サイト側で更新するだけでアップデートが可能なので、アプリケーション自体
開発コスト削減	WebサイトをPWA化するだけなので、ネイティブアプリのように莫大な開発費
アプリストアの審査不要	Google PlayやApp Storeの審査不要で利用開始できます。
手数料不要	アプリストアに登録しないので、OSに徴収される手数料はありません。

PWAのメリットは、手軽にネイティブアプリのようなインターフェースがつくれること。開発コストも維持コストもほとんどかからないハードルの低さが魅力です。

一方でデメリットもあります。大きく2つに分けると、OSやブラウザの対応状況によって一部の機能が制限されることと、ハードウェアにアクセスするような機能はネイティブアプリでしかそもそも実現できないことです。

できないことがある	PWAは、ネイティブアプリと比較すると、一部の機能に制限があります。特に
古いブラウザで非対応	PWAは最新のブラウザでサポートされていますが、古いブラウザでは完全にサ
パフォーマンスの差異	PWAは高速であるとされていますが、ネイティブアプリと比べてパフォーマン
プラットフォームの制限	PWAの対応状況はAndroidが進んでいる一方、iOSは遅れています。例えば、A

WordPressサイトをPWA化する方法



PWAは、アプリ開発に比べると大きくコストを抑えることができます。

WebサイトをPWA化する方法はいくつかありますが、[TCDテーマ](#)をお使いの方なら、下記記事で紹介しているプラグインで簡単にPWA化が可能です。



🕒 2025.05.03 🕒 2025.05.07

TCDテーマをPWA化するプラグイン「TCD Progressive Web Apps」の使い方

Webサイトをスマホアプリのような操作感にし、プッシュ通知なども実現できる「PWA (Progressive Web Apps)」という仕組み。WordPressサイトに実装できれば、サイトを...

まとめ

PWAは、ご自身のサービスをアプリ化したいけど、開発や維持コスト面でネックとなっている方を救済するような素晴らしい手段です。特にPWAは、次のようなウェブサイトにも最適です。

- ネットショップ
- ポータルサイト
- Webメディア・マガジン

PWAは低コスト、短い工期で実装できるため、開発者にとっても非常に魅力的な選択肢でしょう。しかし、すべてのケースで完璧な解決策となるわけではなく、ネイティブアプリにしかできないこともあります。ケースや状況に合わせて、どちらが良いのかを選択することが重要です。



TCD編集チーム

普段はTCDを開発しています。WordPress、プラグイン、テーマ。ホームページ、マーケティングの情報を中心に執筆しています。



Tweet



Share



Hatena



RSS



TCD編集チーム



ウェブの知識



PWA



0



【商用サイト対象】JetPackの統計情報を有料化せずに確認する方法

WordPress 6.8「セシル」の新機能と変更点の解説。



関連記事